

令和8年度 学校の教育目標

共に考え
共に行動

～主体的に考え、判断し、行動できる自律した八中生～

書：竹上広子先生

八幡浜中学校「校長だより」 No.1

校訓

誠実 情熱 団結

令和8年4月8日（水）

※ 八幡浜中学校 HP

「校長だより」に掲載。



転任者4名を加えた総勢42名の「Team 八中」で、令和8年度、2年目の八幡浜市立八幡浜中学校がスタートしました。校訓「誠実」「情熱」「団結」の下、充実した心に残る1年とするために、学校の教育目標を『共に考え 共に行動』としました。「主体的に考え、判断し、行動できる自律した八中生」の育成を目指します。始業式の校長式辞の一部を掲載します。



いよいよ今日から、八幡浜市立八幡浜中学校の2年目が始まります。2年生118名のみなさん、3年生162名の皆さん、進級おめでとうございます。みなさんは、昨年、八幡浜中学校1年目を共に過ごし、新しい伝統を模索し、充実した一年間を共に過ごしました。その経験を基に、更に新しい伝統を作っていきます。

本校の校訓は、「誠実」「情熱」「団結」です。この校訓を実現する生徒を育成するため、令和8年度八幡浜中学校の教育目標は、「共に考え 共に行動」です。「身の回りにある課題を、自分の事として捉え、主体的に考え、判断し、行動することができる八中生」を目指しましょう。そして、「周りからの指示を待たずに、自分で考え、判断し、自分から進んで行動することができる八中生」言い換えると、「自律した八中生」を目指しましょう。

「自律した八中生」になるためのスタートは、「考える」ことです。「考える」と言っても、何をどう考えればよいのでしょうか。

私たちは、学校生活の中で、周りの人に対して、いろいろなことを言ったり、いろいろな行動をしたりしています。自分が言ったり、行動したりするときに、「自分が言ったり、行動したりしたことによって、八中生がうれしい気持ちになったり、嫌な気持ちになったりしているか」ということを「考える」ことが大切です。自分が言ったり行動したりすることで、「周りの八中生が、どんな気持ちになるか」を「考える」のです。そして、その行動によって、「八中生がうれしい気持ちになる」、または「八中生が悲しい気持ちになる」、どちらか判断します。その結果、「八中生がうれしい気持ちになる」のであれば、実際に行動していきます。八中生一人一人が、常に、このように考えて、判断し、行動することができれば、「自律した八中生」になります。

登下校、朝の挨拶、教室での過ごし方、授業の時の態度、友達との接し方など、あらゆる場面で、八中生全員が、このことを頭において行動してください。このように主体的に考え、判断し、行動できれば、「自律した八中生」になります。ぜひ、2、3年生のみなさんが、八幡浜中学校を引っ張り、八中生が「共に考え 共に行動」できる八幡浜中学校にしていってほしいと思います。期待しています。

保護者や地域の皆さま、本校の学校教育推進のために、今年度も御支援と御協力をお願いします。1年間、よろしくお願いいたします。（文責 河野 靖）